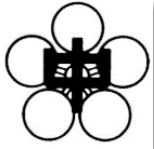


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和元年度 第 16号
令和元年 12月10日
校長 水谷 智子

人権週間に寄せて

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、12月10日を『人権デー』と定めています。日本でも、毎年、12月4日から10日までを『人権週間』と定め、人権尊重への意識を高めるためのキャンペーンなどを行っています。「人権」とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」であり、「人間が人間らしく生きる権利」「生まれながらに持っている権利」であって、誰にとっても大切なものです。しかし、いじめや虐待、差別など、人権を侵害する行為は、いまだ後を絶たず、悲しい思いをしている人がいるのも事実です。私たち一人一人が、様々な人権課題について理解を深め、その克服に向けて取り組んでいかなければなりません。

ところで、最近、LGBTという言葉をよく聞くようになりました。この言葉は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をつなげたもので、『性的マイノリティ（少数者）』を表すものです。性には4つの要素があります、体の性（自分の体の性別）、心の性（自分で思う自分の性別）、性別表現（言葉遣いや見た目・行動によって表現したい性）、性的指向（恋愛対象となる性）の4つです。多くの人の場合、「男[女]の体つき”で生まれてきて、”自分は男[女]だ”と思い、”男[女]性的な振る舞い”をして、”女[男]性”を好きになる”のですが、そうでない人もいます。例えば、「男の体つき”で生まれてきて、”自分は女だ”と思い、そのような振る舞いをしている”ような場合です。そのような『性的マイノリティ』に該当する人は約13人に1人の割合でいるとも言われていますが、周りの人達の理解を得られないことを恐れて、カミングアウトすること（打ち明けること）ができず、一人で悩んでいる人も多いということです。（詳細は保身室前の保健ニュースにあります）

なぜ、自分らしく生きることが難しいのか？ それは、人々のステレオタイプとのずれがあるからでしょう。『ステレオタイプ』とは、多くの人に浸透している先入観、思い込み、固定観念、偏見で、「男とはこうあるべきもの、男は男らしく…」などといった見方です。『常識』『普通』という言葉でくくられることの中には、このようなステレオタイプが多く含まれています。知らず知らずのうちに自分の固定観念を通して「自分と違う人」のことを「変な人」と判断し、差別していることはないでしょうか？ たとえ、自分にとっての『普通』と違っている人だとしても、『違い』を認め、相手の生き方を尊重すること、それが多様性を受け入れ、共に生きることの第一歩となります。

先日の車いすラグビー講演会での三阪さんのお話の中に、「『違い』はコンプレックスではなく『個性』」という言葉がありました。「重い障がいを持っている人も力の弱い女性も、ルールを工夫することによって、みんなでスポーツを楽しむことができる。”障がいがあるからできない””人と違うからできない”と決めつけず、”人と違うことが自分の強み”と捉え、”自分にしかできないこと”を見つけ、それを生かす方法を考え、皆でできるようにする” そのような考えで様々な人と繋がっていくことができれば、今よりもっと「自分らしい」心豊かな生活を、皆が、送れる社会になるでしょう。

世界にはたくさんの方がいて、皆、違った『その人らしさ』や価値観・考え方を持っています。それを『個性』と捉え、互いの『個性』を尊重する社会を創りましょう。私たち一人一人、皆が、かけがえのない命です。まず、『自分らしさ』について考え、自分のことを大切に、周りの人々の『その人らしさ』を大切にできる、思いやりのある豊かな社会をみんなで創っていきましょう。

◎学びのエリアあいさつ運動

12月3日から6日まで「第4回学びのエリアあいさつ運動」を行いました。今回、全校生徒からボランティアを募ったところ、1年生から3年生まで、各日50名程度の生徒が自主的に参加してくれました。

ボランティア生徒達は、加賀小学校と金沢小学校に分かれて、各小学校の児童や先生方と共に、毎朝8時



5分から15分まで校門であいさつの声かけをしました。今回は、ハイタッチをしたり、「ポケットから手を出してね」と優しく声をかけたりと、小中学生が交流する場面も見られ、小学生のあいさつの声も徐々に大きくなってきたように感じました。

先日のCS推進委員会でいただいたご意見を参考に、地域への周知も行いましたので、地域の方から「あいさつ運動をやっているのね」と声をかけていただくなど、地域全体であいさつ運動を推進する流れも出てきています。

3学期もあいさつ運動を実施する予定です。中学生の行動力で地域を明るくしていきましょう。

◎12月学校公開について

12月21日(土)は2学期最後の学校公開日です。公開授業の他、2校時に体育館で2年生対象のスキー教室説明会を行います。生徒と保護者が同席しての説明会になります。(案内配布済)

また、3校時には、体育館で全校生徒・保護者対象の「SNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)の光と影」と題した講演会(講師:上田禎様)を行います。

昨今、小中学生がSNSを使った犯罪に巻き込まれる事件も起こっています。SNSは便利なツールだからこそ、その特性や利用上の留意点を知り、上手につきあっていかなければなりません。保護者の皆様にも、SNSとのつきあい方についてお子様と一緒に考えていただきたく、学校公開日での設定といたしました。是非、この講演会にご参加いただき、ネット社会についてのご理解を深めていただければと思います。

また、今回の各学年フロアの展示は以下の通りです。授業参観の折に、廊下等の展示もご覧いただければと思います。保護者・地域の皆様のご来校をお待ちしています。

<1年> 国語:オノマトペを使った食レポ
「The 一品」

<2年> 家庭科:料理日記

<3年> 英語: “The Person I Respect”

Information

○英検応援講座 12月19日(木)

(案内配布済:13日締め切り)

○中学生ボランティアワーク 12月26日・27日、1月6日

(案内配布済:17日締め切り)

三者面談へのご協力、ありがとうございました。生徒自身が自分を振り返り、課題を把握する機会になったでしょうか? 面談期間に限らず、気になることやご心配なことなどがございましたら、随時ご連絡ください。

また、先週、「保護者によるアンケート」の用紙をお配りしました。12月25日が提出締め切りになっております。今年度の教育活動について振り返り、来年度の教育課程編成について考えるための資料にするものです。集約した結果は3学期にお示しします。加賀中学校のさらなる発展のため、ご協力の程よろしく願いいたします。

感染性胃腸炎やインフルエンザが流行する季節になりました。手洗い・うがいの励行や休養・睡眠について、ご家庭でもお声かけください。



Kaga junior high school
60th Anniversary